

成功するディスカッションのための ペアワーク、グループワーク、クラスワーク

How to Make Pair, Group and Class Work Discussions Successful



小樽商科大学大学院ビジネススクール教授

小林敏彦

大学の学部および大学院での英語授業におけるディスカッションの運営には、クラスサイズや英語力その他諸々の要素を鑑みてさまざまな授業手法の選択が行われる。本発表では、ディスカッションのためのペアワーク、グループワーク、クラスワークを成功させるために、クラスの事情に応じて選択すべき授業手法を類型化し、さらにそれらの類型化と選択により作成された実際のテキストを紹介する。



2. 言語力 = 4技能 + 3領域

4 Skills & 3 Areas

	Receptive	Productive
Spoken	LISTENING 聴解	SPEAKING 発話
Written	READING 読解	WRITING 作文

GRAMMAR

文法

VOCABULARY

語彙

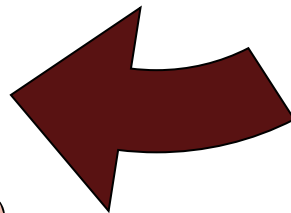
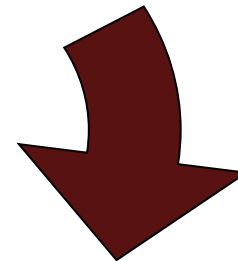
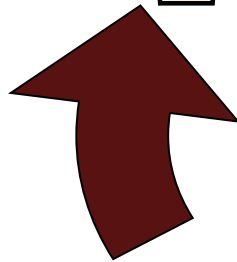
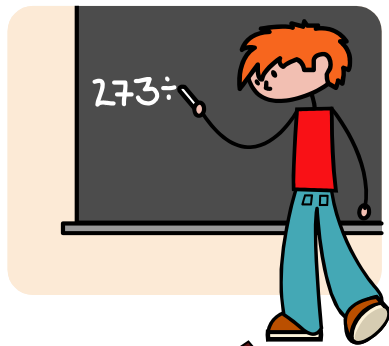
COMMUNICATION

意思疎通力

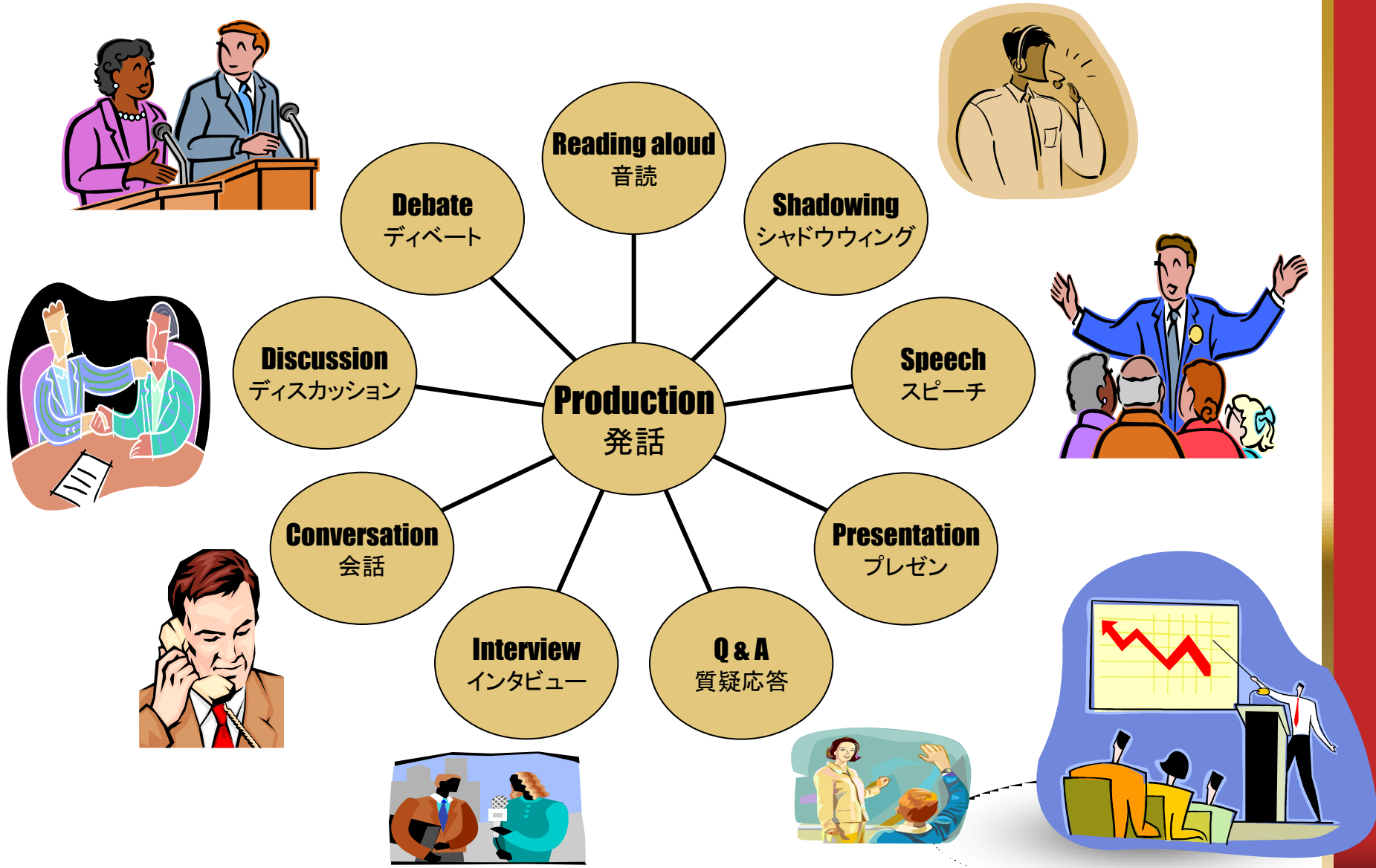


3. 第1言語の4技能の習得順

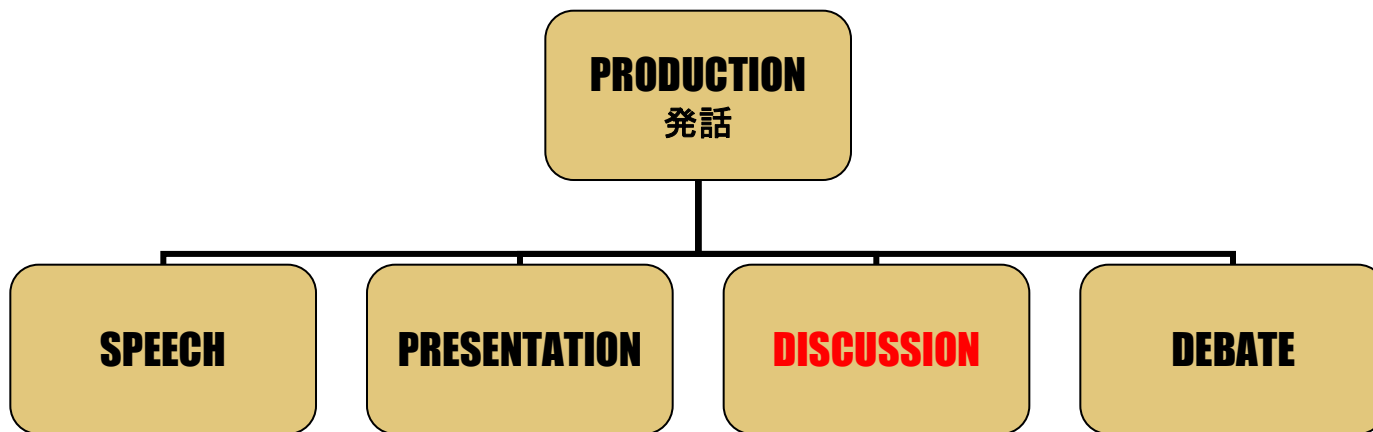
L1 Acquisition Order



4. 口頭の発話行為



5. 四大発話授業活動の特性比較



創造性	△	○	◎	◎
双方性	×	○	◎	◎
多技性	△	◎	○	○
実用性	◎	◎	◎	○
簡易性	△	△	◎	×



6. ディスカッションで何を学ぶか



1. ディスカッションの談話パターンを学ぶ(自然な討論の流れ)
2. 討論に使う語彙や表現、フレーズを学ぶ(高頻度語彙フレーズ)
3. 対人コミュニケーションを学ぶ(他人との係り方)
4. 論理的思考法を学ぶ(他人と話すことで自分の意見を洗練)
5. 多様な意見に触れて異なる価値観を受け入れる(寛容度を高める)



7. ディスカッションの形態

DISCUSSION FORMS

対面	非対面
Teacher & Student	Telephone
Pair Work	Chatroom
Group Work	Mail
Class Work	BBS



8. ペアのマッチング

Matching Pairs for Discussion

	PROS	CONS
座席位置	組み合わせが容易	あらゆる差が出る
英語力別	議論がはかどる	その他の差が出る
所属別	比較的話しやすい	漏れる学生が発生
話題別	詳細な話ができる	その他の差が出る
その他の属性		
学生の自由	話しやすい	漏れる学生が発生



9. ディスカッションの時間

Time for Discussion

- 【】 数分程度を使う。
- 【】 授業時間の大半を使う。
- 【】 ひとつの話題を数回の授業に渡って扱う。



10. トピックの数

The Number of Topics to Discuss

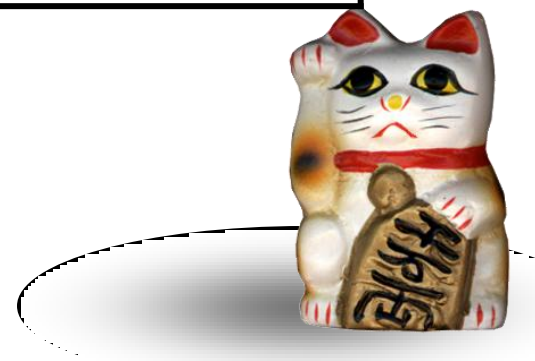
- 【】1回の授業(90分)で全員がひとつ扱う。
- 【】1回の授業(90分)で全員が複数扱う。
- 【】1回の授業(90分)でペアごとに異なるものを扱う。
- 【】複数回の授業でひとつを扱う。
- 【】1学期でひとつを扱う。



11. 開始のタイミング

When to Start Discussion

	PROS	CONS
事前活動なし	<ul style="list-style-type: none">・すぐ始められる・急な話題が可能	<ul style="list-style-type: none">・内容スキーマ喚起欠如
詳細な事前活動	<ul style="list-style-type: none">・十分な内容スキーマ喚起	<ul style="list-style-type: none">・時間がかかる
多少の事前活動	<ul style="list-style-type: none">・適度な内容スキーマ喚起・時間があまりかからない	φ



12. ディスカッションのトピック

PERSONAL TOPICS

SOCIAL TOPICS

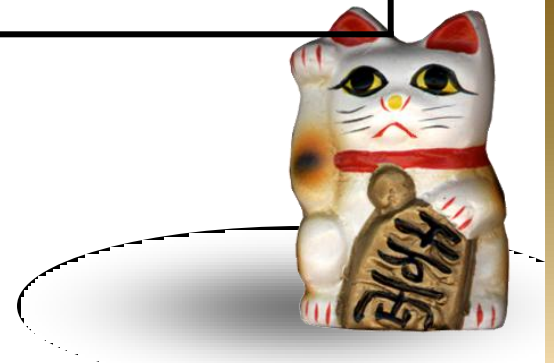
1. 学生が興味を持っている話題
2. 学生がよく知っている内容の話題
3. 教師が教育的と判断する話題
4. いま問題になっている時事問題
5. 語学授業でよくあるお決まりの話題



13. トピックの選択者

Who to Decide What to Discuss

	PROS	CONS
教師が選ぶ	<ul style="list-style-type: none">・教育的効果が配慮可能・リアルタイムの話題選択	<ul style="list-style-type: none">・学生が興味を示さない
学生が選ぶ	<ul style="list-style-type: none">・興味とニーズに合った選択	<ul style="list-style-type: none">・教育的効果が配慮不可・教師が内容をよく知らない
教科書に従う	<ul style="list-style-type: none">・選ぶ手間が省ける・タスクが付いている	<ul style="list-style-type: none">・話題が古くなる可能性



14. 相手の母語

First Language of Interlocutors

	PROS	CONS
同一母語話者	・話が展開しやすい	・母語の干渉の多い表現多発 ・非現実的設定
英語母語話者	・学習効果が高い	・言語力に格差明白
非英語母語話者	・英語の使用実態に合致	・非標準のインプットを受ける
上記混同形態	・英語の使用実態に合致	・非標準のインプットを受ける



15. 使用言語

Language to Use

	PROS	CONS
英語のみ使用	<ul style="list-style-type: none">・英語でものを考える機会・言えることで議論を進める	<ul style="list-style-type: none">・言いたいことが言えない
最小限母語認可	<ul style="list-style-type: none">・正確に意思を伝える	<ul style="list-style-type: none">・
母語自由使用	<ul style="list-style-type: none">・なんでも自由に言える	<ul style="list-style-type: none">英語学習にならない
母語・英語交互	<ul style="list-style-type: none">・自分の英語力の判断できる	<ul style="list-style-type: none">・和文英訳になりやすい・時間がかかる



16. ディスカッションの形態

Language to Use

	PROS	CONS
Free Discussion 制限なく自由に話す	<ul style="list-style-type: none">・リラックスできる・何でも言える満足感	<ul style="list-style-type: none">・言いたいことが言えない
For or Against? 賛否を問う	<ul style="list-style-type: none">・決断力を付ける	<ul style="list-style-type: none">・妥協する可能性
Multi-Viewpoints 最良の意見を選択	<ul style="list-style-type: none">・多様性を学ぶ	
Problem Solving 問題解決に協力	<ul style="list-style-type: none">・協調性の養成	<ul style="list-style-type: none">・時間がかかる



17. 発話へのフィードバック

Feedback to Production

	PROS	CONS
1. No Feedback 一切の訂正を行わない	<ul style="list-style-type: none">・リラックスできる・話がスムーズに	<ul style="list-style-type: none">・化石化が起きる
2. Immediate Feedback 気づき次第即時に訂正する	<ul style="list-style-type: none">・正しい用法が学べる	<ul style="list-style-type: none">・話が中断する・抑圧がかかる
3. Delayed Feedback 話が終わってから訂正する	<ul style="list-style-type: none">・正しい用法が学べる・話が中断されない	<ul style="list-style-type: none">・失念する
4. Retrospective Feedback 録音し再生しながら訂正する	<ul style="list-style-type: none">・正しい用法が学べる・話が中断されない	<ul style="list-style-type: none">・時間がかかる
5. Model Feedback 特定ペアの修正を他に見せる	<ul style="list-style-type: none">・正しい用法が学べる・事前に注意できる	<ul style="list-style-type: none">・いやがる学生



18. Interaction

Mutual Feedback between Interlocutors

視点	注意点	解決策
Directionality 方向性	聞き手話し手の 役割が固定して しまっていないか。	タスクの役割を 交代する。
Quantity 発話量	発話量が一方に 片寄っていない か。	発話時間に制限 を設ける。
Smoothness かみ合い	両者の会話がか み合っているか。	ケースバイケー スの助言と指導



19. ディスカッション授業の3フェーズ

Procedures of Discussion Class

第1フェーズ: **Pre-Discussion Activities** (事前活動)
⇒ 内容スキーマの喚起と表現練習

第2フェーズ: **Main-Discussion Activities** (中心活動)
⇒ スキルの使用実践

第3フェーズ: **Post-Discussion Activities** (事後活動)
⇒ スキルの定着と強化



20. Pre-Discussion Activities

(内容スキーマの喚起と表現練習)

[] Input

関連のニュースかビデオを聞いたり見たりする

[] Background knowledge

質疑応答で背景知識を確認する

[] Vocabulary Preview

主要語彙項目を事前に確認する

[] Different Views

他者の多様な意見に触れて参考にする

[] Outlining

自分の意見を書いて整理する

[] Useful Phrases

決まり文句の確認や定着のためのパターンプラクティスなどの口頭練習



21. Discussion Activities

(スキルの実践)

- [] Model Dialog: モデル対話を聞いて談話パターンを学ぶ
- [] Discussion: 特定の設問や主張に対して意見交換する
- [] Extra: さらに関連の話題を話し合う



22. Post-Discussion Activities

(スキルの定着と強化)

- [] Writing: 自分の意見をしっかりと作文する
- [] Vocabulary View: 使えなかった表現や語彙項目を整理する
- [] Retry: 同じ話題でもう一度同じ相手または異なる相手と話す。



23. ディスカッションを阻む要因

1. 英語の運用能力に大きな差(対話が成立しない)
2. 背景知識や関心に大きな差(一方的な対話になる)
3. 相手に対する偏見や警戒心
4. 他人と交わりたくない(対人恐怖)
5. 自分の英語力を暴露したくない(恥じらい)
6. 日本人同士で英語を話したくない(本物志向)
7. 自分の意見、価値観、思想を知られたくない(秘密主義)
8. 他人と意見の対立などをしたくない(温和主義)
9. 体調や精神的な理由で気分が乗らない(健康管理)



25. ディスカッションのトピック【1】

第1章. 食品

- 第1課 余剰農産物破棄: 余剰農産物の破棄をどう思うか。
- 第2課 米価: 日本の米価をどうすべきか。
- 第3課 寿司警察: 海外の疑わしい寿司を監視すべきか。

第2章. ファッション & 娯楽

- 第4課 ファッション & 流行: ファッションにどのくらい気を使っているか。
- 第5課 偽造ブランド品: 偽ブランド品を買っても構わないか。
- 第6課 チップ: 日本にチップ制度を導入すべきか。



26. ディスカッションのトピック [2]

第3章. 環境 & 健康

第7課 地球温暖化: 二酸化炭素排出をどう規制すべきか。

第8課 喫煙: 喫煙権は認められるか。

第9課 酔っぱらい: 酔っ払いは寛大に扱われるべきか。

第4章. 結婚 & 家族

第10課 キャリアウーマン: 女性は結婚後も仕事を続けるべきか。

第11課 家計: 家計を管理すべきなのは妻か夫か。

第12課 三世代同居: 大家族の利点と欠点は？



27. ディスカッションのトピック【3】

第5章. 教育

第13課 ニート: ニート支援の公的資金を投入すべきか。

第14課 学習塾: なぜ子供は2つの学校を通わなければならないのか。

第15課 未成年の携帯電話使用: 子供に携帯電話を持たせるべきか。

第6章. 金銭 & ビジネス

第16課 付加価値税: 適正な消費税率とはいくらか。

第17課 アルバイト: 学業とバイトのどちらのほうが大切か。

第18課 経歴: 職業選択の基準は何か。



28. ディスカッションのトピック【2】

第7章. 法律

第19課 裁判員制度:新しい司法制度は必要か。

第20課 **NHK**受信料:なぜ**NHK**受信料を支払わなければならないのか。

第21課 学校給食:給食費の支払いを拒否している親をどうすべきか。



29. テキストの構成 [1]

導入メッセージ

話題に関する概要を紹介。

STEP 1: USEFUL INFORMATION

話題に関する基本的な背景やデータや情報を完結に5つポイントにまとめて紹介。

STEP 2: VOCABULARY PREVIEW

議論の内容に関連した語句7つ左に羅列し、和訳としてもっとも相応しいものを右から選ぶ。

STEP 3: PRE-DISCUSSION

サブタイトルにある質問を中心に議論するための準備として、3つの関連した質問が用意。



30. テキストの構成 [2]

STEP 4: FOUR VIEWS

サブタイトルの質問に対する4人の異なる回答が英文で書かれている。

STEP 5: MAKING AN OUTLINE

これまでのタスクを通じて構築されてきた自分自身のサブタイトルに対する回答を一度書き出してみる。

STEP 6: MAIN DISCUSSION

いよいよメインとなる対話。ペアワークやグループワークで行う。

STEP 7: MORE TOPICS

時間の余裕があればする関連した3つの質問。



31. 授業風景(1)



32. 授業風景(2)

